

ふくしまっ子

体力向上総合プロジェクト

H29. 2. 17
第29号
福島県教育庁
健康教育課

優秀実践校表彰式が行われました その2

2月3日（金）に行われた優秀実践校表彰式は、受賞校代表者、御来賓等を含めて50名以上の方々が参加し、盛大に行われました。式では、福島県教育委員会教育長から一校一校に賞状が手渡され、その後、代表の7校から体力向上に向けた実践発表が行われました。その様子をお伝えします。



【南会津町立松沢小学校】

運動身体づくりプログラムの効果的な実践を中心に、基礎基本の定着を図る指導の充実に努めている。運動の習慣化として、全校で業間マラソンに取り組んだり、地域スポーツクラブを活用したりしている。そのベースとして豊かな心を育む授業にも力を入れている。

【西郷村立西郷第一中学校】

全校を上げて「自分手帳」の効果的な活用を図っている。体力テストや身長、体重の経年変化を記入することで、自分の成長を実感できるようにするとともに、三者面談で保護者とも情報を共有している。短時間で継続して体力向上に取り組むSST（清掃・スタディ・タイム）の実践内容とその効果についての紹介もあった。

【湯川村立勝常小学校】

体組成測定をとおして自分の体を科学的に知るとともに、「自分手帳」を効果的に活用している。4月に「健康な体づくり」の目標を設定し、毎月15日に必ず記入するようにしている。また、体力テストの結果を記入し、家庭に伝えることで、学校と家庭の連携を図っている。

【いわき市立藤間中学校】

自力登校、昼休みに屋外で元気に遊ぶ、保健体育の授業前に補強運動を取り入れる等、生徒が体を動かす時間をできるだけ多くしてきた。また、小学校で行っている「運動身体づくりプログラム」を参考に、自校化したプログラムで体力の強化を図っている。

【福島県立田村高等学校】

生徒が積極的に体育の授業に参加している。その一例として、校内マラソン大会の在り方が紹介された。以前は一律同じ距離を走っていたが、自らの能力に合わせて4つの距離から選択するように変更した。すると、以前より積極的に取り組むとともに、完走することで充実感や満足感を味わうことができるようになった。

【郡山市立片平小学校】

運動委員会主催の縦割り班活動「ボール投げで競い合おう」を昼休みに実施することにより、落ち込んでいた投力を向上させることができた。また、希望者の50m走の記録を業間に測定し、記録カードを渡すことで、短距離走の記録向上に努めることができた。

【桑折町立醸芳中学校】

体力テストを行う前に、生徒にテストの目的を丁寧に説明した上で、一人一人にしっかりと目標をもたせるようにした。また、基本的な生活習慣を確立させるために、幼小中が連携し、町全体で「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組んでいる。体力向上と学力向上を教育の両輪に据えて実践に当たっている。

（文責 健康教育課指導主事 塩田俊郎）